## レセプト電子化のスケジュール

		原則		例外規定		
		原則		【手書き】	【高齢者】	【リース期間切れ等】
		•平成20年4月~	400床以上で レセプト電子請求を行っているもの(注1)			
医	病	•平成21年4月(注2)~	400床未満で レセプト電子請求を行っているもの(注1)			
	院	•平成22年7月~	レセプトコンピュータを使用しているもの	レセプトコンピュータ を使用していない場合 		レセプトコンピュータ のリース期間又は
科	診 療 所	•平成22年7月~	レセプトコンピュータを使用しているもの		常勤の医師・歯科 医師・薬剤師が すべて65歳以上 の診療所・薬局 (レセプト電子請求が	減価償却期間の 終了まで (最大平成26年度末)
歯科		•平成23年4月~	レセプトコンピュータを使用しているもの	ー 紙で請求可 (電子媒体又は オンラインによる	可能な場合を除く)	紙で請求可
薬		•平成21年4月(注2)~	レセプトコンピュータを使用しているもの	請求に移行するよう 努めるものとする)	紙で請求可	年間請求件数が1200 件以下の薬局の レセプトコンピュータ のリース期間又は 減価償却期間の 終了まで (最大平成22年度末) 紙で請求可

- (注1) レセプトコンピュータにレセプト文字データ変換ソフトの適用が可能である場合を含む。
- (注2) 平成21年4月時にオンライン請求を行えなかった病院・薬局は、平成21年12月診療分から。
- ※ この他、 個別事情(回線障害、業者の対応遅れ、改築工事中、概ね1年以内に廃院予定、その他特に困難な事由)による猶予規定あり。